

え 企 振 第 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

えりも町長 岩 本 溥



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

9月19日付国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

〒058-0292

幌泉郡えりも町字本町 206

えりも町企画商工課

振興係長 吉田 元喜

TEL 01466-2-4612（企画商工課直通）

FAX 01466-2-4633

1. 幹線道路＝生活道路という認識を高めてほしい。未だ、通行止めにより生活基盤が脅かされているまちの現状を緊急の課題として取り組むべきである。

2. 地方の道路整備財源の充実

地方の道路は、防災・救急医療対策などの生活道路として不可欠であるが、その整備状況はまだ不十分であり、さらにその維持管理についても負担が大きいため、地方の道路の整備・維持管理についても、必要な財源の配分・充実に要望する。

3. 道路構造令について

一定の基準は当然必要であるが、もっと地域の実情に柔軟に対応できるよう基準の見直しを行い、過大な道路構造を生む原因とならない道路整備補助制度を要望する。

4. 町道の除雪について

日常生活において、身近な道路である町道の管理については、特に冬期間の除・排雪作業が、地域の高齢化等により出勤回数も多くなり、住民の安心・安全な暮らしを支えるためには、道路維持管理に要する経費が必要であり、その財源としての交付税の増額や、制度の見直しを要望する。

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道えりも町

○現状

1. 交通安全対策、防災・越波対策

えりも町・広尾町間の国道336号線は、地域住民（目黒地区）にとって唯一の生活道路であり、地域外への連絡道路となっているが、災害・越波等による交通止めが頻繁に発生し、住民の生活を脅かしている。

一方、通行止めによる影響は観光客にも及んでおり、特に観光シーズンともなると、国道236号で迂回を余儀なくされるなど、多大な影響を与えているのが現状である。

2. 地域医療、高規格幹線道路

当町の医療機関は、本町地区に町立国民健康保険診療所と庶野地区に道立庶野診療所の2施設が設置されているが、過疎地域医療では医療設備が不十分なため、2次・3次医療機関への転送を余儀なくされており、さらに高度医療については、札幌市・苫小牧市の高度医療施設に搬送されているのが現状である。

また、日高沿岸での水産加工品や昆布などの第1次産品の流通確保及び日高地域の観光資源活用を図る上でも、物流や観光のスムーズな流れを妨げている。

○課題

1. 十勝圏域との安全で安心な交通網確立のため、襟広防災事業の促進及び維持管理の充実を図ること。

2. 地域間・都市間の医療・観光・物流のアクセス道路の整備として、高規格幹線道路日高自動車道の整備促進を図ること。

③－２ 地域の目指すべき将来像

北海道えりも町

- １．災害・越波等による通行止めの発生は是正のため、安心・安全を確保するための道路防災事業を推進させること。
- ２．医療等のサービス確保のため、高度医療施設へのアクセス可能となる高規格幹線道路の整備促進を図ること。
- ３．観光資源の活用や昆布等の第１次産品の流通確保が必要となるため、地域間・都市間のアクセス道路（高規格幹線道路、襟広防災事業）の整備を図ること。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道えりも町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1. 安心・安全な道路の確保	① 襟広防災事業の促進 ② 国道336号線「えりもー広尾間」の維持管理の充実	安心・安全な道路を確保し、幹線道路（生活道路）を整備することにより、地域住民の不安を解消するとともに、観光のまちとして景勝地「襟裳岬」などの観光資源の活用が図られる。	
2. アクセス道路の整備	① 高規格幹線道路日高自動車道の整備促進		